

原爆投下以前の 官立長崎医科大学附属図書館

2012.11.5 第19回日本医学図書館協会研究会
松村悠子(長崎大学附属図書館医学分館)

2012/11/05



はじめに

- 官立長崎医科大学附属図書館(現・長崎大学附属図書館医学分館)は長崎市坂本町に所在していた。
- 1945年8月9日。爆心地0.5km圏内。原子爆弾により多大な被害(資料・建物・人員)を受ける(原子爆災)。



原子爆災によりほとんど消失した戦前の図書館の様子をデジタルアーカイブおよび他館が所蔵する史料を基に素描する。

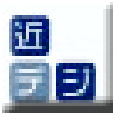
2012/11/05

2

主に使用した史料



- 醫科大學附屬圖書館統計
第1次(昭和3年度)
～第12次(昭和16年4月-昭和17年3月)
 - NCID:AN10061406(図書)、
BA63336746(雑誌)
 - 長崎大学所蔵なし。
 - 国立国会図書館
 - 近代デジタルライブラリー
[<http://kindai.ndl.go.jp/>]
で無料公開。(第6、10次以外)
- 長崎医科大学一覧
- 文部省職員録



2012/11/05

3

官立長崎医科大学

和暦	西暦	できごと
安政4	1857	11月12日、長崎奉行所西役所医学伝習所でボンペが医学伝習を開始。
文久元	1861	長崎市小島に養生所を新設、医学所を開校。
慶応元	1865	医学所・養生所、精得館、長崎府医
明治元	1868	精得館、長崎府医
明治2	1869	長崎府医学校、長
明治4	1871	長崎県病院医学校
明治5	1872	長崎医学校、第六
明治6	1873	第六大学区医学校
明治7	1874	第五大学区医学校 廃止。長崎医学校、
明治9	1876	県立長崎病院内に医学場が設立。
明治11	1878	長崎病院医学場、県立長崎医学校と改称。
明治21	1888	長崎医学校、第五高等学校医学部と改称。
明治24	1891	西彼杵郡浦上山里村に新校舎が落成し移転。
明治27	1894	第五高等学校医学部、第五高等学校医学部と改称。
明治34	1901	第五高等学校医学部、長崎医学専門学校と改称。
大正12	1923	官立医科学大学官制により長崎医学専門学校は長崎医科大学に昇格。附属医学専門部・附属薬学専門を併置。県立長崎病院は長崎医科大学の附属医院となる。
昭和20	1945	8月9日、長崎市に原子爆弾が投下され長崎医科大学は壊滅的な被害を受ける。
昭和24	1949	国立学校設置法(1949年法律第150号)により長崎医科大学は長崎大学医学部となる。

2012/11/05

4



官立長崎医科大学附属図書館の設置

- 大正12(1923)年、長崎医科大学附属図書館規程が認可。
- 大正15(1926)年8月、附属図書館の新築落成。
- 9月7日、**勅令第三〇二号**で、官立医科大学官制中、改正により、官立医科大学に附属図書館を設置し、新たに司書(＝山口林一)を置いた。
- 同22日、赤松宗二教授が初代附属図書館長に。
- 同30日、附属図書館規程を改正。

「長崎医学百年史」1961

2012/11/05

5

勅令第三〇二号(大正15(1926).9.7)

官立医科大学官制中左ノ通改正ス

第二條中「書記」ヲ「書記司書」ニ改ム

第九條ノニ 司書ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ附属図書館ニ於ケル図書記録ノ整理、保存及閲覧ニ関スル事務ニ従事ス

第二十二條 官立医科大学ニ附属図書館ヲ置ク

図書館ニ図書館長ヲ置ク教授又ハ助教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

図書館長ハ大学長ノ監督ノ下ニ於テ図書館ノ事務ヲ掌理ス

「JACAR(アジア歴史資料センター)Ref.A03021621800、

御署名原本・大正十五年・勅令第三〇二号・官立医科大学官制中改正(国立公文書館)」

勅令第三〇二号以前は新潟・千葉医大では図書館、金沢医大では図書室がありそれぞれ館長や書記が配置。

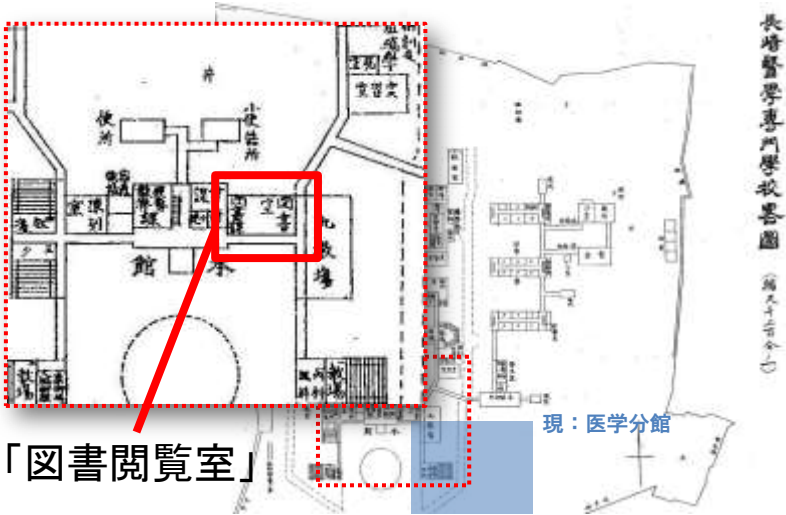
岡山・長崎医大では図書館(室)についての記載なし。

(「文部省職員録 大正14年10月1日」1925)

2012/11/05

6

「附属図書館」以前



2012/11/05

「長崎医学専門学校一覽. 明治38-40年」1912

7

歴代館長

	任期	氏名	教室	備考
1	大15(1926)9.22-昭4.4.1	赤松 宗二	薬物学(薬理学)	
2	昭4(1929)4.1-昭8.4.1	緒方 大象	生理学	後、九州帝大に転任。
3	昭8(1933)4.1-昭12.3.31	竹内 清	病理学第一	昭21没。
4	昭12(1937)3.31-昭15.8.15	高木 純五郎	解剖二	原子爆災により死亡。
5	昭15(1940)8.15-昭18.3.31	大倉 玄一	衛生学	原子爆災により死亡。
6	昭18(1943)3.31-昭20.3.10	寺坂 源雄	薬理学	後、東北大学に転任。医学分館長。
7	昭20(1945)3.10-昭20.8.9	池田 吉人	解剖一	原子爆災により死亡。
8	昭20(1945)8.?-昭22.7.5	高瀬 清	精神科学	後、医科大学長、医学部長。
9	昭22(1947)7.5-昭23.9.7	横尾 安夫	解剖二	
10	昭23(1948)9.7-昭28.4.30	頼尊 豊治	医化学(生化学)	昭24. 5.31からは医学部分館長。

「長崎医学百年史」・当館の記録による

2012/11/05

8



人員

回次・年度	司書兼書記	嘱託	ほか
1・昭3	1(山口林一)	項目なし	雇 4
2・昭6	1(山口林一)	項目なし	雇 4
3・昭7	1(山口林一)	項目なし	雇員 3、小使 1
4・昭8	司書 1(山口林一)	項目なし	雇員 4、小使 1
5・昭9	1(内田梅雄)	1(山口林一)	雇員 4、小使 1
6・昭10	1(内田梅雄)	1(山口林一)	雇員 4、小使 1
7・昭11	1(石川敏雄)	1(山口林一)	雇員 4、小使 1
8・昭12	1(石川敏雄)	委託 2(山口林一、田鶴壽男)	雇員 3、給仕 1、小使 1
9・昭13	1(石川敏雄)	2(山口林一、田鶴壽男)	雇員 4、給仕 1、小使 1
10・昭14	1(石川敏雄)	2(山口林一、田鶴壽男)	雇員 3、給仕 1、小使 1
11・昭15	1	1(山口林一)	雇員 3、給仕 1、小使 1
12・昭16	1(田鶴壽男)	1(山口林一)	雇員 3、給仕 1、小使 1

2012/11/05

「医科大学附属図書館統計」「長崎医科大学一覧」「文部省職員録」

9

初代司書：山口林一

- ・ 明治17(1884)年7月20日長崎生。
- ・ 大正4年、長崎医学専門学校時代より勤務。
- ・ 大正15年～昭和8年、「司書兼書記」。
- ・ 昭和8年～16年(57歳)、附属図書館嘱託(図書館主任)。
- ・ 昭和17年、大村市役所へ。
- ・ 趣味は読書、郷土史。
- ・ 長崎医科大学境内に鎮座し給う少彦名命の御神霊を敬恭す。長崎談叢。第26輯;1940
- ・ 父を語る。長崎談叢。第22輯;1938
- ・ 父：山口林三郎(通訳)



第5回医科大学附属図書館協議会
(昭和6年、於長崎)当時47歳。
「日本医学図書館協会六十周年略
史」jp32:1987

「医科大学附属図書館統計」「長崎医科大学一覧」「文部
省職員録」「大衆人事録」より

2012/11/05

10

官立医科大学附属図書館協議会

- ・ 現：日本医学図書館協会。
- ・ 昭和2(1927)年11月10日発足。参加館5。
- ・ 新潟医科大学、岡山医科大学、千葉医科大学、金沢医科大学と共に長崎医科大学附属図書館も参加。
- ・ 第5回総会(昭和6.10.7-8)は長崎で開催。
- ・ 戦前の事業「共同雑誌目録の作成」「外国雑誌共同購入」「ドイツ雑誌値下げ購入」「医学図書館分類表の作成」

「日本医学図書館協会六十年史」より

2012/11/05



創設費・建物

回次年度	建築費	設備費	書庫			閲覧室 坪数		事務室坪数	其他坪数
			建坪	延坪	階数	図書	新聞		
1・昭3	20,931.91 円 銭	1,688.000 円 銭		40		37		16	
2・昭6	25.962.23	"	20	"	2	37 (館長室7.5坪)		32 階下16坪 (一部新聞閲覧室ヲ含ム)	
3・昭7	"	"	"	"	"	32	8	29 (階上13,階下16)	7.5 (館長室)
4・昭8	"	"	"	"	"	"	"	"	"
5・昭9	"	"	"	"	"	"	"	29 (階上16,階下13)	"
6・昭10	34,162.250	3,677.000	"	"	"	"	"	"	"
7・昭11	"	"	"	"	"	"	"	"	"
8・昭12	"	"	40	80	"	"	"	"	"
9・昭13	"	"	"	"	"	"	"	"	7.5 (教授閲覧室)
10・昭14	"	"	"	"	"	"	"	"	"
11・昭15	"	"	"	"	"	"	"	"	"
12・昭16	"	"	"	"	"	"	"	"	"

事務室の増築と
模様替え

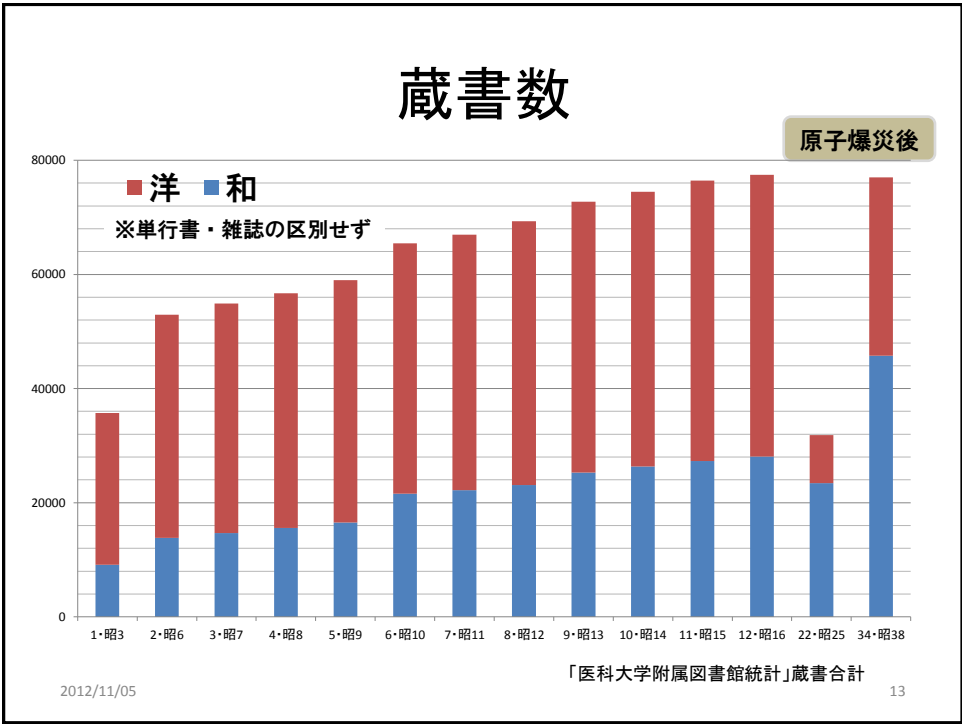
書庫増築。2棟目
(鉄筋コンクリート
造)と思われる

高木館長
任期中
(昭12-15)

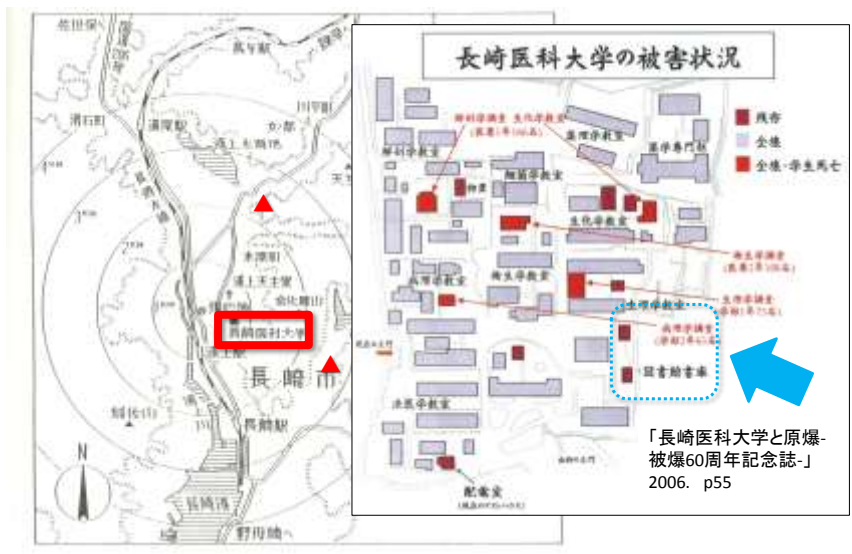
「医科大学附属図書館統計」「九州図書館史」

2012/11/05

12



1945.8.9 AM11:02 長崎市に原爆投下



図書館建物の被害



...丁度図書館書庫（コンクリート造）の裏に出た。そのときは既に図書館の事務室、大講堂、それに下側にある雨天体操場、学生集会所、そして本館はすべて焼きつくされていた。図書館の焼跡には女子を混じえた数人の屍体が黒焦になっていた。...
（「忘れえぬ日」1995 p119より抜粋）

長崎医科大学全景（被爆後）
「長崎医科大学と原爆 ー被爆60周年記念誌-」2006

2012/11/05



被爆当時の図書館職員

官職	氏名
附属図書館長	池田 吉人
司書	山口 静夫
雇	江崎 ミツ、溝越 親子 馬場 節子、佐藤 弘
定夫	永田 熊太郎

- 館長以下7名は、すべて死亡。
- 田鶴寿男(司書兼書記)は応召中。戦後も長崎大学に勤務し、原爆十周年記念出版委員会「追憶」1955の編集にも参加。

「忘れえぬ日 長崎医科大学被爆50周年記念誌」1995、「原爆復興50周年記念長崎医科大学原爆記録集」1996、「文部省職員録」

2012/11/05



図書館資料の被害

• キュンストレーキ・・・**残存**

万延元(1860)年にポンペがフランスから取り寄せた紙製解剖模型(kunstlijk)。

「原爆の直前」、佐藤純一郎助教授(当時)が、図書館書庫2棟のうち鉄筋コンクリート造の棟の2階へ移したことにより、焼失を免れた。

・青木義勇. 長大医学部所蔵の木製古聴診器と紙製人体解剖模型. 長崎談叢. 1981;64輯別冊:16-28

・青木義勇. 紙製人体解剖模型. 長崎医学同窓会長崎支部だより. 1987;第2号:p2



• 孫文親筆「一視同仁」の額・・・**焼失**

葉国慶. 原爆の犠牲となられた長崎医科大学の師友を偲んで. 原爆復興50周年記念 長崎医科大学原爆記録集. 1996:p30

戦前(左。大正9年卒業アルバムより)と現在(右。医学分館2階近代医学資料展示室で撮影。2012.7.24)

2012/11/05

17



おわりに: 今後の課題

• 原爆投下3か月前の資料疎開

昭和20年5月ごろ佐賀県鹿島町(現・鹿島市)に貴重資料約130点を疎開。

・青木義勇. 長崎医科大学歴史散歩. 昭六会回顧五十年. 1981:p178-185

・青木義勇. 長大医学部所蔵の木製古聴診器と紙製人体解剖模型. 長崎談叢. 1981;64輯別冊:p16-28

・青木義勇. 紙製人体解剖模型. 長崎医学同窓会長崎支部だより. 1987;第2号:p2

• 第16回医科大学附属図書館

協議会(昭和21年、京都)

「罹災館復興に各館の援助要請[長崎]」






「日本医学図書館協会六十年史」より



2012/11/05

18

主要参考文献

- 「醫科大學附屬圖書館統計」
- 「長崎医科大学一覽」
- 「文部省職員録」
- 「長崎医学百年史」1961 
- 青木義勇. 長崎医科大学歴史散歩. 昭六会回顧五十年.
1981:p178-185
- 青木義勇. 長大医学部所蔵の木製古聴診器と紙製人体解剖模型. 長崎談叢. 1981;64輯別冊:p16-28
- 青木義勇. 紙製人体解剖模型. 長崎医学同窓会長崎支部だより. 1987;第2号:p2
- 「日本医学図書館協会六十年史」1987
- 「忘れえぬ日 長崎医科大学被爆50周年記念誌」1995
- 「原爆復興50周年記念長崎医科大学原爆記録集」1996 
- 「九州図書館史」2000
- 「長崎医科大学と原爆 -被爆60周年記念誌-」2006 